

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年4月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630-3 (電話) 0995-64-2550
自己評価作成日	令和3年4月12日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年4月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は今年の8月で19年目を迎えます。これからもまだまだ新たな気持ちで頑張っていきます。これも全て、元気なご利用者様と日々頑張ってくれている職員のおかげだと思っております。毎日入れる温泉や緑豊かな自然に囲まれてご利用者様も日々ゆつくりと過ごされております。看取りに関しても変わらずご本人様、ご家族様の要望にも答え、医療機関との細やかな連携を取りグループホーム隼人で最後を迎えたり、想いがある自宅にお連れする形で対応させていただいております。新型コロナウイルスの影響にて外出がなかなかできず、外食やドライブもなかなか出来ない状態である為、新型コロナウイルスが落ち着いたら園外活動としてドライブ、外食、お買い物支援に出かけたいと思っております。屋内、中庭にて行える行事については行えているのでできる限り楽しんで頂けてます。ライフサポートワーカー「介護何でも相談所」の事業所でもあり3名のライフサポートワーカーが在籍しており相談を受けて適切なアドバイスや専門の医療機関等を紹介し、安心して過ごせる事業所として取り組んでおります。日頃よりご利用者様のお口に合うように食事については工夫をしたり季節に応じた食材や食事を提供しております。入居施設ではなくご家庭で過ごされているというイメージを崩さないように活力ある事業所として日々頑張っております

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、霧島市郊外の自然豊かな温泉地、隼人町松永地区に平成15年に開設されており、周辺は個人住宅が立ち並び、遠くには市街地や桜島が望める。開設以来、地域との交流に努め、イベントへの参加、散歩時の会話、ボランティア等を積極的に受け入れてきているが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して現在は園外での交流は自粛している。面会は、利用者や家族の気持ちに配慮して、園庭の東屋で家族ごとに日時を設定して実施し、住民から農産物を頂いたり、「まちかど相談所」に寄せられる住民からの相談に丁寧に助言するなどの交流を継続している。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が家族や地域と繋がりながら、平穏で生きがいのある利用者主体の支援に日々努めている。新型コロナウイルス感染症の影響で外食やイベントへの参加は自粛中であるが、家族との面会や電話の取り次ぎに努め、人出の少ない公園へのドライブで馴染みの街並みや季節の花を車窓から眺めたり、移動販売車による買い物を楽しむなど、工夫して外出を支援している。また、機能訓練を兼ねたレクリエーションや菜園での花や野菜づくり、昔の音楽や映画の鑑賞等、工夫してストレスの解消を図っている。日頃から利用者及び家族の思いや把握に努め、サービスの改善に取り組んでおり、信頼関係が築かれている。

管理者は、職員と気軽に意見を言い合える信頼関係及び協力体制を構築しており、通常の業務の中やミーティング時に意見や要望を聞き取り、業務やサービスの向上に取り組んでいる。ケアに関する助言や指導に努め、個人的事情や休日取得に配慮して勤務シフトを作成するなど働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。コロナ禍で外部研修の機会が減少しているため、メディパスアカデミーの動画による講座を活用するなど工夫してスキルアップを図り、修得状況の把握にも努めている。職員の人権や人格を保護するために、利用契約書に「ハラスメントの防止」の条項を追加するなど積極的に改善を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム内に理念を提示したり職員会議やユニットミーティングで共有を図っている。	ホームの理念を玄関や事務室等に掲示し、申し送り時の唱和や施設内研修で共有を図り、日頃からケアの振り返りや意見交換等を行って、利用者の尊厳を大切に理念に添った支援の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の人に会った際は挨拶をし会話をし交流を図っている。また施設内の行事の際は案内を配り地域交流に努めている	地域の情報の把握に努め、通常は地域の会合やイベントに参加し、散歩や買い物時には地域の人との会話を楽しみ、家族・友人の面会、施設見学、ボランティア、農産物の差し入れ等を積極的に受け入れるなど円滑な交流がなされているが、現在は、新型コロナウイルス感染予防のため外出やイベントへの参加、ボランティア等の受け入れは自粛している。「まちかど相談所」を設置しており、住民から寄せられる相談に丁寧に対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方の相談や見学、職場体験等を受け入れたりを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催しホームの状況、行事、利用者様の状況、活動報告を行う。地域の方からアドバイスを頂き行事や交流に活かしている	会議は定期的（年6回）に開催し、家族や住民代表（2名）、行政職員等が出席して、ホームの現況や行事、利用者の状況等の報告を行い意見交換も行って改善に努めてきたが、昨年度より新型コロナウイルス感染予防に配慮して一堂に会することは控え、資料の送付や電話等で現状を伝えながら意見を出してもらおう等、工夫してサービスの改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議開催で市町村担当とは相談や報告など話しやすい関係にある。霧島市主催の行事にはなるべく参加し質の向上に努めている</p>	<p>介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ホームの運営や感染症予防に係る相談、生活保護者の処遇に関する協議等を行い、指導や助言をもらうなど、市担当者とは協力関係を築いている。Zoom会議にも積極的に参加し、新型コロナウイルス感染症予防に関する協議も密に行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施設で月に1回、法人で2か月に1回身体拘束委員会を開催し事例や勉強会を行い身体拘束をしないケアに努めている</p>	<p>身体拘束や高齢者虐待については、メディアパスアカデミーの動画による講座を活用し、法人の身体拘束適正化委員会も定期的（年4回）に開催して、事例研修や意見交換等を行って認識を共有している。利用者主体の自由な暮らしの支援に日々取り組んでおり、意見交換し、不適切な言葉遣いには職員間で注意し合う等改善に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>地域包括センターから講師を招いたりzoom会議に参加し学ぶ機会を確保防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>グループホーム連絡協議主催のブロック研修会の中で権利擁護の研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時利用者様の立場になり、利用者様やご家族が不安にならないような説明対応を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にはコミュニケーションを積極的にとり不安など気軽に言えるよう努めている。	利用者の思いは日頃の会話や仕草、独自のサイン等で理解し、家族からの意見、要望は面会や電話、手紙、ライン、毎月のお便り等で利用者の状況を伝えながら把握して改善に繋げている。現在、新型コロナウイルス感染予防に配慮してイベントや家族会等は自粛しているが、家族の面会は事前に日時を打ち合わせして園庭の東屋で短時間で継続している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各ユニットや施設内で会議を定期的に行い職員の要望や意見を聞き運営者の指示、方針を伝えている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日頃の業務の中やミーティング等で要望等を把握し、必要に応じて個人面談も実施して改善に取り組んでいる。ケアに関する助言やスキルアップを図る研修の実施、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等、働きやすい職場環境の整備に努めている。特に職員の人権や人格の保護のため、本年1月から利用契約書に「ハラスメントの防止」の条文を追加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行ったり、休暇などはなるべく希望に沿った日に取れるよう調整し働きやすい職場づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の意見を聞き内容に沿った研修を紹介したり、外部研修に順番に参加できるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修に参加した際は他施設の方たちとコミュニケーションをとり意見交流したりしサービスの向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人が安心して入所される様気持ちに寄り添った会話を心がけている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族等の相談に対しては、心配事不安を受け止めグループホームとしてできる助言対応を行っている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者様やご家族の思い状況等を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返し信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として尊敬を持ちながら話や対応心掛けている。自分も一緒に生活しているんだと考え努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話対応の際情報交換を行いご家族との信頼関係を築けるよう心掛けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前に行かれてた馴染みの場所や人と電話や手紙等で交流していただき関係が途切れないようにしている	利用者毎の馴染みの情報を把握しており、通常は体調や天候に配慮しながら日常的に近辺の散歩や家族と協力して買い物や通院、一時帰宅、外食、墓参、ドライブ等を支援しているが、現在は新型コロナウイルスの感染予防に配慮して外出は控え、家族とは、面会やビデオ通話、電話、手紙の取り次ぎ等で関係を継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性や関係に気を配りスタッフが間に入ったり席を替えるなどし対応し努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族からの相談など受け、関係を断ち切らないようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関りの中で声掛けを行い把握に努めている。会話が困難な方は家族などから情報を得て努めている	利用者の日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いを把握し、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしを家族の意向も伺いながら支援している。利用者が希望する趣味（活花、電子ピアノ、ぬり絵他）やテーブル拭き、洗濯物たたみ、菜園の作業等の取り組みを残存能力に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には達成感が得られるような言葉も添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、入所時にはおおまかに把握しているが不十分であるため家族や親戚の方から情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご家族にアンケートをお願いして生活の理解をしている。職員同士情報を共有し生活の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中や、ご家族からの意見を聞きながらミーティング等で情報共有し介護計画書の作成に取り組んでいる	本人・家族の思いを把握し、主治医の意見やモニタリング及びミーティング時の職員の意見等を基に利用者主体のきめ細かな介護計画書を作成している。ケアの実施状況は「業務日誌」「バイタルチェック」等で共有している。定期的な見直しに加え利用者の状態変化時には計画を変更する等、実態に沿った計画を作成して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常生活の言動を詳細に個別の介護記録に残している。申し送りやノート、ミーティングで情報の共有を行っている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>通院、外泊、墓参りなど本人の意向に沿えるように柔軟に支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者様が安心して暮らし続けられるよう、消防署と協力し通報、避難、消火訓練を行っている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族が希望されるかかりつけ医になっている。</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、主治医による月2回の訪問診療や必要に応じて歯科の訪問診療や訪問看護も実施している。他科受診は家族主体でホームも連携して実施し、協力医療機関との医療連携の体制も構築して適切な医療が受けられている。利用者の病状や受診結果は家族にも密に報告して共有しており、利用者及び家族の安心に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調や些細な表情の変化を見逃さないように早期発見に取り組んでいる。変化等に気づいたことがあれば看護師に報告し適切な医療につなげている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>ご家族と情報の交換を行いながら入院先の地域連携室との情報交換を密にして早期退院ができるように努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームとしての看取りに関する指針を定め家族の同意をもらっている。</p>	<p>重度化や終末期に対する指針を整備し、本人や家族に説明して「事前意思確認書」を作成しており、定期的（2～3年毎）に意思を再確認している。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族の意向を聞き取りながら、可能な限り希望に沿った支援に取り組んでおり、昨年度も2件の看取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し緊急時について備えている。法人内で緊急時の対応の仕方やAEDの使い方などを訓練している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定した訓練を行い年に1回は消防署の方々にも協力していただいている</p>	<p>災害時の対応マニュアルを整備し、年2回（うち1回は消防署立ち合い）夜間発生も想定した災害訓練と消防署職員による研修を実施している。従来、焚き出し訓練には地域住民や家族の協力も得られているが、本年度はコロナ禍に配慮して利用者と職員とで食事や飲料水等をシュミレーションしながら実施している。スプリンクラーや火災通報装置、避難用滑り台を設置し、発電機や懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食料品、介護用品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は個人情報について守秘義務を図っている。話をしている時や介助時、更衣時などで配慮に心掛けている	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように、メディパスアカデミーの講座を各職員のスマホに取り組んでの研修やケアの振り返り等で認識を共有し、利用者の背景や習慣等にも気遣いながら、自己決定を尊重した支援に努めている。衣服の交換や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらが決めるのではなく1人1人の意見を聞きご本人様の思いや希望に添えるように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のおおまかな流れはあるがすすめるかしないかはご本人の意思におまかせしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居前に利用されていた理容、美容室をご利用していただいたり化粧の習慣がある方などはなるべく支援できるように努めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望をお聞きして苦手な食べ物やアレルギーがある方には献立を変更するなどの対応をしている	利用者の好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限、代替食等に配慮した週ごとのメニューで調理しており、利用者も日常的に食材の下処理やテーブル拭き等を楽しみながら行っている。行事食には外部の専門給食会社の料理を取り寄せ、餅つき、手作りのおやつ等、食事が楽しみとなるよう工夫しているが、新型コロナウイルスの感染予防のため外食や家族との会食は自粛中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分がなかなか取れない方などにはゼリーや味が付いたものなどして必要量が摂取できるように工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い異状がある方などはかかりつけの歯科医に来ていただいたりしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の時間を個別に把握しさりげないトイレ誘導を心がけている	利用者毎に排泄パターンを把握し、習慣にも配慮しながら声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援している。昼夜で介護用品や方法を変えるなど利用者の状況に応じたケアを介護計画に反映させて通り組んでおり、便秘の予防に食事や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲んでいただいたり水分(1000ml)前後摂って頂けるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉浴を楽しんでいただけるよう1対1で行い、入りたくないという方は時間や日にちの変更を行っている	基本週3回、温泉での個浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度シャワー浴等で清潔を保っている。温度や時間、習慣、同性介助、好みのシャンプー等を柔軟にゆっくり楽しんでもらっている。入浴をためらう利用者には、時間の変更や声かけ等を工夫して、利用者自身が意欲を待つようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室内の温度や生活音に気を付けてご本人様に合わせた就寝時間に誘導するよう心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がないように2重チェックを心がけ飲ませる際はスタッフ同士声掛けを行うようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で発せられたことを共有し買い物、食事、施設内の役割など提供できるように努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1人1人のその日の状態や気分に合わせて散歩や外出の機会を設けストレス発散に努めている	日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を楽しんでいるが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して、家族との外出については控えてもらっている。また地域のイベントの殆どが中止され、ホームの行事計画も実施できない状況であったが、人出の少ない公園等にドライブで出かけて車中から季節の花（桜、ツツジ他）を眺め、週1回の移動販売車で買い物をし、野菜や花を育てたり、昔の音楽や映画のビデオを楽しむなど、ホーム内でのレクリエーションの工夫で気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族とご本人と話し合いをし希望がある際は財布やお金を個人で持っていていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様より電話の希望があれば職員が繋ぎお話していただいている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光量の調整や生活音の調整季節感のあるものを飾ったり距離ごとに椅子を置いたりして配慮に心掛けている</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすホールは明るく余裕あるスペースが確保されており、動線や利便性に配慮してテーブルやテレビ等を設置している。随所に活花や利用者の作品等が飾られて和やかな雰囲気となっている。清掃や空調、衛生管理を徹底し、不快に感じる音や臭いもなく、また、園庭には菜園や東屋、テーブル、ベンチ等が設けられて、利用者は四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同の空間で1人になれることはないが椅子を設置したり利用者同士の関係性に配慮した配置を心掛けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族に馴染みのものを持ってきていただけるようお願いをし馴染みの物を活かした生活ができるよう心掛けている</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、エアコン、電動ベッド、タンス等が利用者の心身の状態に配慮して設置しており、意向に添って整理整頓を支援している。利用者は愛着のある使い慣れたテレビや寝具、家族写真、楽器、小物等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いの額等も飾って、居心地良く過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>日常生活の動作を把握し手すりや椅子の設置などの環境整備を行ったり援助に努めている</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない